

いこいツシム

第34号

平成26年4月
発行:依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町3365-5
TEL:0268-68-0281
FAX:0268-68-0283

在宅強化型老健移行から一年経過
信頼関係を深め、多職種協働による在宅復帰・

在宅生活支援の更なる推進

老健いこいは、昨年4月から在宅強化型老健に移行しています。

老健施設は、平成24年4月の介護保険制度改革で、「従来型老健」と在宅復帰を推進する「在宅強化型老健」とに二分化されました。在宅強化型は、在宅復帰率が50%以上等算定要件が厳しく、長野県下に96施設ある老健の内、平成26年1月末で在宅強化型に移行している老健は、いこいも含め7施設ということです。厳しい要件の中で、いこいが移行できた主な要因は次の三つが考えられます。

一つ目は、何と言つても、ご利用者やご家族のご理解ご協力があつてのことです。二つ目は、いこいからの退所者の経路

で家庭への退所者は、以前から70%近くあつたことがあります。平成22年に厚生労働省が調査をした老健施設からの退所者の経路で、家庭へ帰られた人の割合は23.8%という事ですので、いこいでの在宅復帰は比較的円滑に推進できました。

三つ目は、手前味噌ですが、いこいでは当面は不可能かと思われましたが、施設長の方針に添つて、看護・介護・リハビリ職員等多職種が協働して、リハビリを中心とした自立支援に取り組んできました。

在宅強化型老健に移行し二年目となる今年度は、ご利用者、ご家族との信頼関係をさらに深めるため、いかなる場面でもご家族に寄り添い、ご利用者、ご家族にとつて少しでもプラスになることを一緒に考え取り組みます。

また、併設する依田窪病院や地域の介護サービス事業所との連携を深め、在宅復帰された方の在宅生活支援にも積極的に取り組んでまいります。

◆介護報酬が改定されました

介護報酬は、3年に一度改定されます。本来ですと次期改定は、平成27年4月ですが、この4月の消費税率8%引上げに伴い、介護サービス施設・事業所に実質的な負担が生じないよう、介護サービス全体では、平均0.63%の介護報酬改定が行われました。

介護老人保健施設につきましては、0.8%の改定となりました。これにより、4月から利用料金が若干値上がりしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

◆介護報酬の比較(一部掲載)◆

入所部門(個室) 1日当たり単位(1単位10円)

区分	改定前	改定後	差
要介護1	739	745	6
要介護2	811	817	6
要介護3	873	880	7
要介護4	930	937	7
要介護5	985	993	8

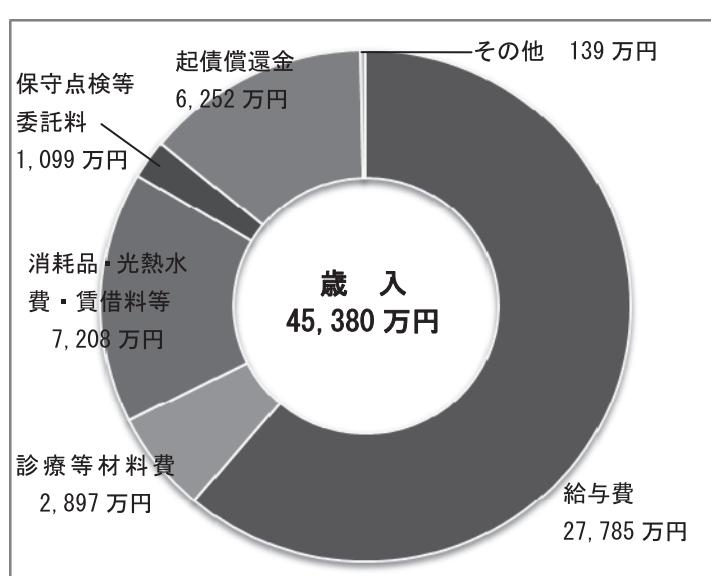
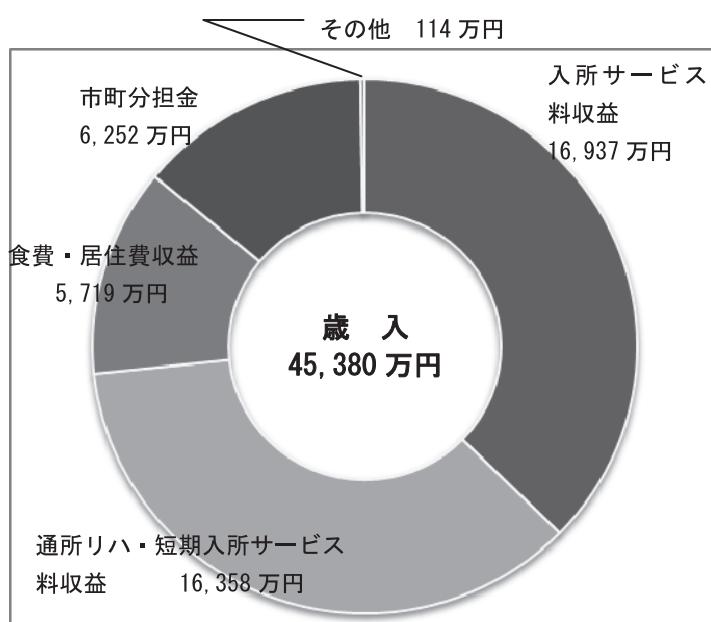
入所部門(多床室) 1日当たり単位(1単位10円)

区分	改定前	改定後	差
要介護1	819	825	6
要介護2	893	900	7
要介護3	956	963	7
要介護4	1,012	1,020	8
要介護5	1,068	1,076	8

平成26年度の予算は、4億5千380万円になりました。

3月6日、依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会が開かれました。老健いこいの関係では、平成26年度特別会計予算案や、平成25年度補正予算案が審議され可決されました。

平成26年度予算は、前年度は既存棟屋上面改修工事があり、その費用の減等により、対前年度マイナス3.9%、1千820万円の減となりました。



「笑顔」の大切さ

主任介護員 飯塚 稔

私がいこいに入職し11年が経過しました。県外出身の私ですが、いつのまにか県歌「信濃の国」も歌詞も見ずに歌えるようになっていました。11年を振り返ると入職当時は、いこいでは「大規模ケア」を行っていました。一定の時間になつたらトイレへ行き、食事や入浴も楽しみとは言えないよう思いました。経験が増えるにつれて、「このケアで本当に良いのか?」「利用者さんの思いはどうなんだろうか?」という思いが浮かび、先輩と熱く話し合つたことも何度もありました。

やはり、今のままでは良くないことは皆が思っていたことで、その後「ユニットケア」に移行して行きました。ユニットケアの最大の目的は「個別ケア」であると考えています。ご利用者一人ひとりが自分らしい生活を送り、在宅生活に向けてリハビリや日常生活での訓練をしていく。これこそが「個別ケア」であると私は思います。そのためには、ご利用者をよく知ることが必要です。日々の関わりの中で楽しみや希望を聞く。お互いの関係が良好でなければ難しいことです。そこで必要なのは「笑顔」です。笑顔が生まれれば良好な関係が築けて行けるでしょう。「笑顔」によって救われたこともあります。これからも「笑顔」を大切に、いこいと在宅を結ぶ橋渡しとなって行きたいと思っています。

後輩が増え、学ぶことより伝えることが多くなってきていますが、まだまだ学ぶことは多くあります。これからも勉強の毎日です。



龍野 遼

利用者様の立場に立ち、何を訴えておられるのか察し、小さなことから気付き行動して行きます。



山本千奈

利用者様が毎日楽しく安心して過ごしていただけるよう努めて行きたいと思います。よろしくお願ひいたします。



清水早苗

2月より、通所で勤務しています。利用者様が気持ち良く利用されるように努めて行きたいと思います。

○ 長和町和田
○ 上田市上丸子
○ 小林群史
○ 辰野博郷
○ 様 様

次の方々よりご寄付をいただきました。
略儀ながら紙上をもちまして、厚くお礼申
し上げます。

ご寄付
お礼

新規採用職員の紹介「よろしくお願ひします。」



下村円花

まだ、分からぬことだらけですが、1日でも早く皆様のお役に立てるようになんばりたいです。



竹内あゆ海

利用者様と明るく楽しい関係が築けるよう、努力して行きたいと思います。よろしくお願ひします。

お願い

ご家庭で、ご使用にならないタオルやバスタオルがございましたら、「いこい」にご寄付をお願いいたします。

ご連絡いただければ、いただきに伺います。

(電話: 68-0281)

人事関係

●2月1日付
●3月31日付(退職)
●4月1日付

2月1日、3月31日、4月1日付で、
次のとおり人事異動がありました。

異動
看護師 横山 薫(病院→老健)
新規採用
介護員 清水早苗

異動
看護師 横山 薫(病院→老健)
新規採用
介護員 清水早苗
△舟久保真理子(介護員)△竹内優子
(介護員)△宮下 実(介護員)
△杉浦 光(介護員)

●3月31日付

●4月1日付

昇格
上條拓也
主任介護員

異動
飯塚 稔
主任介護員

新規採用
理学療法士 町田哲也(病院→老健)

新規採用
理学療法士 市川隼人(老健→病院)

新規採用
佐藤里美(理学療法士)・臨時職員か

新規採用
山本千奈(介護員)△竹内あゆ海(介護員)

新規採用
△佐藤里美(理学療法士)・臨時職員か

新規採用
△山本千奈(介護員)△竹内あゆ海(介護員)

新規採用
△佐藤里美(理学療法士)・臨時職員か

新規採用
△山本千奈(介護員)△竹内あゆ海(介護員)



★編集後記★

2月の大雪時には、施設開設以来、初めて通所リハビリテーションを1日休業としました。ご利用者の皆様にご不便をおかけしましたことに、心からお詫び申し上げます。芽吹きの季節の到来と共に、いこいにも新たな仲間が加わりました。一日も早く仕事を覚えた「チームいこい」の一員として、所期の目的達成のためがんばりますので、よろしくお願ひいたしました。